

世論が
区政を動かし

特定健診・高齢者健診が (40～74歳) (75歳以上) 無料になります

日暮里・舎人ライナー開業 運動が実りシルバーパス適用



都交通局に都営での運営とシルバーパスの適用を求める署名を提出する区民と日本共産党区議団

開業にむけて地域の方からいろいろな要望をいただき、その実現に取り組んできました

要望事項	結果
シルバーパスを使えるようにして!	実現
運賃は高くしないで!	都営交通なら第三セクターより低く抑えられと要求し、実現。
無人車両・無人駅は何かあったら心配。人がいる駅にして欲しい!	車両には安全対策要員(駅務員)が乗車。駅には7月末まで、全駅に人員配置。
駐輪場の台数は十分に確保を!	各駅に確保
EV・エスカレーターを全駅に!	実現
同じ道路を走る都バス「里48」は廃止しないで!	本数は減りましたが存続実現
新しい駅と既存のバス路線を結びつけるバス停もつくって!	実現
強風や積雪などの安全対策は大丈夫?	風速20mで、自動緊急停止。

二〇〇八年第一回定例議会が二月二日から三月二七日まで開かれました。
原油高騰の影響が区民と中小業者へのしかかるとともに、後期高齢者医療制度の実施に怒りが高まる中で、日本共産党足立区議団は積極的に区民のくらしを守る提案をし、実現に奮闘しました。

健診率向上・区民の健康守るために

「特定健診は無料で」の声が届き

今年四月から始まった「特定健診」について、当初、足立区は有料化を検討していました。

日本共産党は区民の健康を守る立場から、「無料を維持すべき」と九月に区長あてに要望書を提出し代表質問や委員会等でも繰り返し要求。

また、区が行った説明会や区民の意見を聞くパブリックコメントには、多くの区民から「区民健診は無料で」と強く要望が出され、医師会も「有料化して健診率が上がるはずがない」と反対しました。こうした世論が区政を動かし特定健診、高齢者健診は無料と決まりました。

健診無料化の共産党の取り組み	
07年 9月	代表質問で要求
07年10月	来年度予算編成への要望で要求
07年12月	代表質問で再度要求
08年 2月	区が無料実施を表明

妊婦健診の無料化 14回まで

妊婦健診は前期一回、後期一回が無料でした。しかし経済的理由で健診を受けずに出産ぎりぎりの状態で入院する人が増えています。

日本共産党は、二〇〇三年九月議会から繰り返し「妊婦健診の無料回数を増やして」と要求。今議会でも安全な出産のために増やすべきと質問。区は「妊婦健診は健康で安全な出産をする上で重要」と認め、十四回に増えることになりました。

ピロリ菌検診が始まる 除菌に一部助成

今年度から消化器健診は「ピロリ菌検診」と改められます。

検診の結果ピロリ菌が発見されたとしても、ピロリ菌の除去は保険適用がないため、お金をかけなければ除去できません。

日本共産党は「ピロリ菌除去に対して何らかの支援策が必要ではないか」と質問。胃腸病などの所見がなく保険適用とならなかった場合には、区がピロリ菌除菌費用の一部を助成することになりました。

地球温暖化防止など対策せまる

日本共産党

真に地球にやさしいまちをめざして「提言」を提出し、実現せまる

日本共産党は地球温暖化防止にむけて区長に、「真に地球にやさしいまちをめざして」―足立区の地球温暖化対策への提言―を提出。提言はCO2削減目標の引き上げ、プラスチックの資源回収、石油等を使わない自然エネルギーの導入などを積極的に提案、実現を迫りました。

低エネルギー交通・太陽光・バイオエネルギー等の推進へ

自転車などの低エネルギー交通の推進はCO2削減のために重要です。日本共産党は公共交通、自転車等の利用促進のために条件整備を目標化して取り組むべきと質問。区は「自転車は環境負荷が少なく整備を前向きに検討する」と答弁。

自然エネルギーの活用として太陽光発電への助成が増額され、集合住宅への設置も進めることになりました。また太陽熱の活用を強調するとともに、使用済み天ぷら油を精製したバイオディーゼルの活用を提案。区の広報車などに使うよう求めました。

プラスチックごみの焼却は地球温暖化防止に逆行

地球温暖化防止のため多くの自治体では「プラ・マーク」のついたプラスチックごみを分別回収し、資源化する方向に取り組んでいます。ところが足立区は「環境重視」と言いながら、プラスチックごみは分別・リサイクルではなく、焼却することを「現時点では最適」と実施しました。その理由として「分別すれば費用が十三億円かかる」「回収しても半分は資源化できない」と述べています。

日本共産党は分別・回収している自治体を視察調査。同じ方法でも九億円程度で分別・回収でき、さらに費用を少なくできる可能性を指摘。またリサイクルの仕方で九〇％以上資源化できることを明らかにしました。区は「計画的にプラスチックのリサイクルを進めていく」と答弁しました。

日本共産党

足立区議団ニュース

発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 鈴木けんいち
編集責任者 伊藤和彦

2008年第1回定例区議会報告

みなさんのご意見をお寄せ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp

足立区議団のホームページ http://www.adachi-jcp.jp/

実現・前進 しました

住区センターの従事者などの 雇用条件改善・賃金アップ

区は労働基準監督署から時間外労働の協定締結など5項目について是正勧告がされ、本年4月から労働基準法にもとづいた保険加入など雇用条件の改善と時給単価引き上げが行なわれ、区の非常勤職員の賃金が平均で14～15%のアップになりました。

65歳～74歳の国保料(年金から天引き) 相談でいままでどおりの納入可能

10月から65歳～74歳の国保加入者(世帯主)は、保険料が年金から天引きされるようになりますが、区に相談をすれば、いままでどおり分割納入など自ら払い込めるようになります。

介護保険

同居家族がいても
生活援助サービスが
受けられるよう改善

2006年の制度改革で、同居家族がいる場合、介護保険の生活援助サービス(調理、掃除、洗濯など)が使えない事態が発生。これに対し、同居家族がいても屋間一人になる高齢者のサービスは、個々の必要性に応じた対応を行ない、利用できるようにさせました。

学校配布予算が増額 中学校に学校図書館支援員を配置

学力テストの結果による予算配分はやめ、本来の学校配布予算にもどし、1億4700万円増額になりました。

また、中学校に学校図書館支援員が配置されます(今年10校でモデル実施)。学校長の判断で勤務時間は放課後に限定せず、柔軟に授業と連携できるようになります。



日本共産党は中小業者支援のため、看板・ひよけなどの道路占用料を免除することを求めるとともに、5%の負担が重い「子育てバスポート事業」に対し、協力店に年間五万円助成することを提案しました。また、高齢者支援と商店街活性化を図るモデル事業として高齢者が電話やファックスで商品を注文すれば、「買物コーディネーター」が八百屋さんや肉屋さんなどの商店と結んで高齢者に宅配するという提案も行いました。

業者支援

過去最高
852億円
ためこみ

お金の使い方を変えれば くらし応援できます

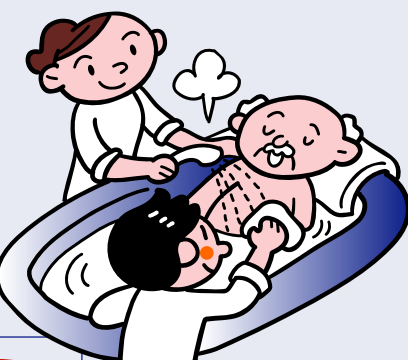
近藤区長の初の予算編成となった足立区の2008年度予算案は、「子ども・環境・治安を柱」と言いながら、保育料は値上げ、障害者巡回入浴は有料化、廃プラスチックはリサイクルせず焼却など、区民の暮らしを支え、地球温暖化防止をすすめる姿勢が弱い予算です。一方、1年間で200億円もため込み、基金残高は過去最高の852億円。23区でもトップクラスとなりました。

日本共産党は、お金の使い方を変えて、区民の負担を軽減し暮らしを応援する予算にするため、ため込み基金の1・5%を活用し、38の新規・拡充事業ができる予算修正案と保育料値上げストップなど3つの条例案を提案しました。しかし、自民、公明、民主、無会派が反対しました。

障がい者

重度障害者巡回入浴事業は、一人では入浴できない障害者にとってなくてはならないものです。区はこれまで無料で実施してきたものを有料にしました。対象者は今年五六人です。日本共産党は、「人間としての尊厳を大切にすべき」と区の姿勢を追及し、いままでどおり無料で実施するようせまりました。また通所施設は、原油・原材料高騰、物価高の影響を受け、バターや小麦粉が値上がりして困っています。日本共産党は、クッキーをつくって販売している施設では、価格に転嫁できず一二月からクッキーを一回り小さくして販売しているなどの

実態を示して区に緊急な対策を求めました。公的居住支援制度の創設を「足立区障害者計画」では、入院中の精神障害者の地域生活への移行を五年間で、一三一人の目標にしています。しかし、退院しても「住む家が決まらない、保証人がいない、住まいを確保するために区が支援してほしい」という要望があがっています。日本共産党はその声に応え、公的な居住支援制度の創設を強く要望しました。



高齢者

日本共産党は、後期高齢者医療制度実施の中止撤回を求めるとともに、介護保険などの負担を軽減し、安心して長生きできるように介護保険料を払っている六五歳以上すべての方に年五

千円支給する「ながいき応援手当」の条例を提案しました。また、制度改革で利用が制限された介護保険制度について、訪問介護などのサービスを提案。自力でこみを出せない要介護高齢者世帯のこみの個別回収を行うことや、高齢者の入浴券枚数の増、紙おむつの支給の拡充を提案しました。

まちづくり

安心して住める街づくりは重要な課題です。まちを明るく照らし防犯に役立っている私道防犯灯設置の電気代維持管理費は一灯につき年三〇〇〇円を助成していますがが足りません。日本共産党は、全額助成をしている江戸川区などの例を上げ助成の拡大を求めました。また、区の防災まちづくり基本計画改定案と耐震改修促進計画案に対して意見を提出し、一般質問でも取り上げました。その主な内容は①防災対策も示したハザードマップの作成②地域コミュニティを生かした防災計画づくり③耐震化促進への費用助成の増額④地域住民の合意をもとにした減災まちづくりなどです。分譲マンションに対しても、管理実態把握と減災・防災計画作成に支援することなどを求めました。

子育て支援

保育料の値上げ ストップ条例を提案

三年前、自民・公明・民主の与党によって保育料の値上げが強行されました。その条例にもとづいて、今年四月からさらに平均二〇%の値上げが行なわれる計画に対して、日本共産党は、「子ども施策を重視する」という区長に「値上げ中止」を繰り返し要求してきました。今議会では、保育料の値上げ中止、二人目以降の保育料を無料にする条例を提案しました。



●小中学校入学祝い金の支給を提案 「義務教育は無償」ですが、入学準備には

かばんや制服、学用品など多額のお金がかかります。この負担を少しでも減らし、夢と希望・期待に胸ふくらませて入学する足立区の子ども達を心から応援するため、一人につき一万円の入学祝い金を支給する条例を提案しました。少人数学級の来年度実施に向け、具体的方向を示す

若者たちへ ワクワク元氣の出る 文化活動を提案

北千住駅周辺をはじめ路上ライブを楽しむ若者たちが目につきます。日本共産党は、音楽を楽しむ若者たちに演奏の場を提供する区主催のヤングミュージシャン・コンサート開催を提案。天空劇場を一週間貸し出し、音響、照明等の使用料を支援することは、若者の夢と希望を広げることになると提案をしました。また、太鼓、ロックバンド、ピアノなど大きな音が出る音楽の練習場所を計画的に増やす提案もしました。

声

いいですね。発表の場がほしかった。聞いてくれる人の感想も聞きたいし、審査員をたててコンテストなんかだと張り合いもあるな。

日本共産党の 予算修正案

(38項目の一部紹介)

ためこみ金852億円の1.5%を使えば、実現できます。

区民税の減免対象を拡大し、前年比所得が激減した区民を救済する。費用は **300万円**

65歳以上の高齢者に、介護保険などの負担を軽減し、安心して長生きできるよう応援するため年5,000円支給 **6億5000万円**

今年4月からの保育料値上げを中止するとともに、第二子以降の保育料無料に **18億円**

小中学校等入学祝い金(一人1万円) **1億1336万円**

介護保険改悪で削られた生活援助サービスの時間を増やしたり、通院なども介助が受けられるように **3億7000万円**

介護の施設や事業所の新規職員に奨励金(月5,000円)を支給し人材を確保する **1億2000万円**

子ども医療費入院給食費を無料に **600万円**

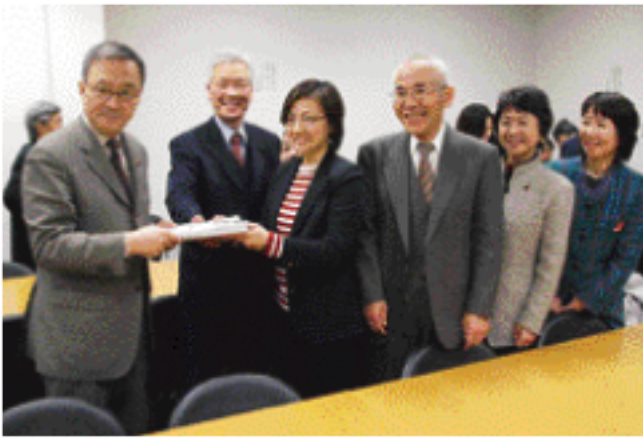
ヤングミュージシャン・コンサート開催、スタジオを増やす等若者の文化活動応援 **380万円**

子育てバスポート協力店への助成、宅配実施店をカタログにして配付など **4485万円**

10月から廃プラスチックの全区回収・資源化をすすめる **1億9560万円**

私道防犯灯電気代を全額補助にし防犯を支援する **625万円**

増税、負担増を少しでも軽減する予算に



後期高齢者医療制度の中止を求める署名を笠井衆院議員に手渡す
区議団と渡辺修次、池内さおりさん（08年1月国会にて）

年寄りには長生きするなということか 75歳以上の 医療差別はやめて!

後期高齢者医療制度の四月からの実施に対し、国民の怒りはますます広がり、制度の見直しや中止・撤回を求める意見書が五六〇以上の自治体から上がり、反対署名は五〇〇万をこえています。

足立区でも、「どうして年金から引くのか」「どうしてこんなに上がるのか」「年寄りには長生きするなということか」など、区民からの苦情と問合せが殺到しました。

今議会には、後期高齢者医療保険

料を徴収する条例が提案されました。日本共産党は制度の中止・撤回を求める立場から、「反対」しました。

後期高齢者医療

制度をつくった自
民党、公明党に加え
国会では4野党共
同で「廃止法案」
を提出している民
主党も賛成し保険
料を徴収する条例
を強行しました。

区民の
声

今まで一生懸命働いて
辛抱して生きてきたの
に75歳になったら切り
捨てられるのか
(77歳・女性)

エッ!
区民に意見を聞くまもなく
突然提案! その日に強行採決!

議員定数50↓45に削減

区議会最終本会議で自民、
公明が突如、議員定数を五
名減らす条例案を提出しました。

議員定数をどのように決めるかは
議会と民主主義にとって根幹にかか
わる重要事項であり、日本共産党は、
委員会で時間をかけて十分審議し、
区民にも知らせて決めるべきと求め
ました。

しかし、委員会への付託も行わず、
その日のうちに採決を強行。日本共
産党が「なぜ削減しなければならな
いのか」と質問すると、提出者の自
民党の議員は「これといった根拠は
ない」と答弁するありさまでしたが、
自民、公明に加え、民主党、無党派
も賛成して決定しました。

区民とのパイプを細くするもの

本来自分たちの声を代弁するはず
の議員を減らせという声が住民の中
から上がるのは、「議員が何人いて
も私たちの生活はよくならない」「汚
職や税金のムダ遣い」など政治への

不信ではないでしょうか。

地方議会の主な役割は区政と区民
をつなぐパイプ役、行政のチェック、
条例を立案・制定するなどですが、
議員定数削減は、この議会制民主主
義の重要な役割を弱め、区民と行政
をつなぐパイプを細めるものです。

地方自治法は議員定数の上限を定
めており足立区は五六人です。しか
し八年前六名減らし、今回さらに五
名減らして十一名少なくなりました。

その結果、千代
田区は住民一八
二二人に一人議
員がいるのに対
して、足立区は
一四〇一六人に
一人の議員となり、
それだけ住民の
声が届きにくく
なると言わざる
をえません。

本会議
傍聴者の
声

どうして区民に知らせ
ず決めてしまうのか、
定数削減について意見
を聞いて欲しい
(50代・女性)

緊急要望提出し、
原油・原材料高騰対策を求める



区長に原油原材料高騰の緊急要望を提出

原油高騰は食

料品の値上げを
はじめ生活のあ
らゆる面に影響
しています。日
本共産党は、ク
リーニング店の
廃業、暖房のな
い部屋ですごす
高齢者、資材の
値上げで価格に
転嫁できない業
者などの声をもとに、区長に対し、対策本部
を設け影響調査することや福祉灯油の実施な
ど四点の緊急対策を求める要望書を提出しま
した。

公衆浴場への補助実現

原油高騰で経営が圧迫されている公衆浴場
に区は、「四五軒の公衆浴場に四一三万円支
給した」と答えました。

しかし、返済に苦しむ融資の利子補給の拡
大や返済期間の延長などの要望には背を向け
ました。

新銀行東京に400億円追加投入

区民は怒っています

都民の税金を一千億円も投入して設立した新銀行東
京（別名・石原銀行）にさらに四〇〇億円投入する石
原都知事と、都議会で賛成した自民党、公明党への批
判と怒りが高まりました。

日本共産党区議団は、北千住駅、竹ノ塚駅などは
非を問う「シール投票」をしました。結果は六〇三人
の投票で賛成はわずか二三票。圧倒的な区民は追加出
資に「ノー」の意思を示しました。

竹ノ塚駅
鉄道立体化は
一日も早く

今議会では「道路特定財源の暫定
税率が廃止されたら竹ノ塚駅の立体
化が遅れる」「区の負担が増える」
などの質疑がありました。

日本共産党は、道路特定財源を一
般財源化しても「道路整備に税金が
使えないわけではない」と指摘し、
鉄道立体化や必要な道路整備に税金
が使えることを明らかにしました。

大切なのは、第二東京湾道路建設
など無駄な高速道路建設を優先する
のか、人命が奪われた踏切事故を二
度と起こさないためにも、開かずの



竹ノ塚駅踏み切り周辺

踏切対策な
ど命と安全
にかかわる
緊急対策を
優先するの
かだと指摘。
立体化促進
に力をそそ
ぐことを表
明しました。